

令和元年度環境省環境カウンセラー研修(九州地区) 広がる視点 ～SDGsの理解～ 子供対象の事例 ～大人にこそ伝えたい～ 楽しめる手法 ～分科会ではディベートも～

- 期 日： 令和2年2月16日(日)
- 場 所： 福岡県教育会館(福岡市東区馬出4-12-22)
- 参加者： 事業・市民各部門の九州地区環境カウンセラー48名

毎年行われる環境省主催の環境カウンセラー九州地区研修を、昨年度に引き続き今年度も当協会が受託・企画・運営しました。九州圏域の事業部門、市民部門の環境カウンセラー、他県からの参加も含めて48人が参加しました。内容は以下の通りです。



研修の様子

1 全体研修

(1) 環境省九州地方事務所環境対策課 森 寄幸課長による「SDGsの視点を踏まえた持続可能な地域づくり」の講演では、環境省が提唱している「地域循環共生圏の創造」における環境カウンセラーの役割及び国内外また地域の最新情報等がもたらされました。

(2) 九州産業大学地域共創学部 垣迫裕俊教授による「ESDの視点を取り入れたファシリテーション技術の向上～大学でのSDGs教育実践例を中心として～」においては、これまでの研修ではあまり触れられなかった多様な視点での話がありました。

SDGsの考え方は、環境、社会、経済の三側面を統合した「あるべき姿」であり、環境カウンセラーは包括的に理解することが重要。特に社会的側面の課題理解・アプローチは、福祉関係者との協働が必要ではないか。また経済的側面も、イノベーション・成長戦略としての理解が必要。「やれることからやる」が、「やれることだけやる」にならないように留意しようとして締めくくられました。



垣迫裕俊九産大教授による講演

垣迫先生は、2016年に北九州市で開催された第7回環境カウンセラー全国交流会(会報15号に掲載)で基調講演をいただくご縁がありましたが、昨年度まで北九州市役所において環境局長等を歴任、教育長を最後に勇退されるという経歴の持ち主であり、現役時代に北九州市エコタウンをはじめ「世界の環境首都北九州市」を作り上げた方です。

今回、九州の自治体のSDGsに関する意識調査アンケートという独自調査の結果もご披露下さり、ややもすれば「環境」という枠だけに捉われがちな環境カウンセラーの私たちにとって、目からうろこの話が満載でした。

2 事例発表

(1)九州環境カウンセラー協会の梅原暁也氏による「AI時代に必要な能力は？」では、AI時代の到来により能力の急激な陳腐化が起こっている。その中で活動していくには、対人的能力、組織的能力など、人間しかできない心のマネジメント力を持つことが重要であると語られました。

(2)ふくおか環境カウンセラー協会の篠原貴美恵氏の発表

「早寝早起き朝ごはんにチャレンジ」では、絵カードを使った旬当てクイズから入り、地産地消、フードマイレージ、食糧自給率、食品ロスなどを含め、地球温暖化防止など環境負荷をできるだけ少なくする心地良い生活について語られました。最後は紙芝居「とまとくんの涙」で終わりました。これは子供対象ですが、必要十分な情報やメッセージが詰まっており、大人こそ学ぶべき講座であると思いました。



篠原貴美恵氏の事例発表

3 専門研修

(1) 第1分科会「低炭素社会づくり」～気候変動影響への適応を推進するための方策～

参加者数：21名（市民部門9名、事業者部門12名）



第1分科会の皆さん

現在の日本で起こっている気候変動の影響と行われている適応策について話題提供があり、その後、3グループに分かれて「あなたの考える適応策」のアイデアを出しあい、よいアイデアに投票するグループワークがありました。最後に、各グループで票の多かったアイデアについて分科会全体で共有しました。防止策を実施するような新たな適応ビジネスを展開する等、これまでにないユニークな案が提示されました

(2) 第2分科会「プラスチック資源循環」

～プラスチック資源循環を推進するための方策～

参加者：27名（市民部門11名、事業者部門16名）



資源循環方策の主体は3Rとバイオプラスチックへの転換であるとの話題提供があり、その後、2つの命題、①サーマルリサイクル（熱回収）はリサイクルと言えるか？ ②バイオプラスチックへの転換は切り札になるのか？の2題が提示され、それぞれに①Yes、②Noの意見を持つ4つの班に機械的に分け、各班それぞれを主張する理由を考え、ディベートしました。班編成は必ずしも自分の日頃の考えとは一致しないうえ、解決への考え方は、トレードオフの部分はどう位置付けるかなど、かなり熱気のコもった場となり、多様な立場の新鮮な視点で討論することができました。

4 まとめ

それぞれの分科会の報告後、研修は終わり、修了証書が手渡されました。終了後のアンケートによれば、各研修とも、・最新の情報が得られた／・自分の考えもしなかったアイデアを聞くことができた／・ふだんあまり話をしない年令の方や職業の方の意見が聞けた／・分科会の企画が素晴らしかった。次回もして欲しい等の記述が多くみられました。



第2分科会の皆さん

資料のpptについては、ダウンロードするのはよかった、一方、紙で欲しかったとの両方がありました。また、九州以外の地域からの参加もあり、九州地区の雰囲気よかったという感想も。

参加目的は、最新情報の収集 38%スキルアップ 25%情報交換 21%となっており、皆さま、各研修において、当初の目的は十分達せられたとのことでした。

（報告者 森本美鈴）

表彰

当協会の活動が評価されました！

表彰おめでとうございます！！

(1) 「ふくおか環境カウンセラー協会」が、またも環境大臣表彰！

環境カウンセラー環境保全活動表彰【地域特別貢献賞】を受賞



環境省からの表彰状



副賞の木製マグカップ

この度、当協会は、環境省の環境カウンセラー対象の第2回環境カウンセラー環境保全活動「地域特別貢献賞」を受賞しました。環境大臣表彰は平成29年度の地域環境保全功労章に続き2度目です。当協会の地道な活動がまたも評価され嬉しい限りですが、身の引き締まる思いがします。

【主な功績】

地球温暖化防止活動推進センターなど地域の環境関連団体との連携を推進し、環境カウンセラー団体の活動の新しい領域を開拓した。また、環境問題の解決に取り組む地域環境人材の育成に注力し、多様な育成セミナーなどを開催して大きな成果を上げた。

受賞者の皆様へ

この度は、「第2回環境カウンセラー環境保全活動表彰」を受賞されましたこと、心からお慶び申し上げます。今回、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、表彰式に代えて郵送によるお祝いとさせていただきますことについて、ご理解を賜ればと存じます。

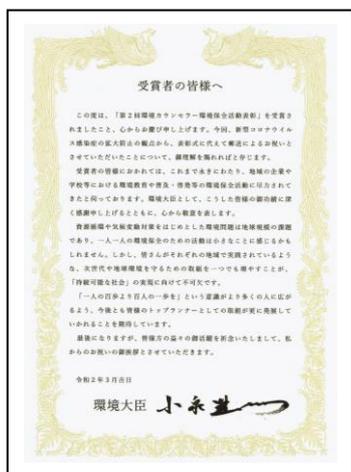
受賞者の皆様におかれては、これまで永きにわたり、地域の企業や学校等における環境教育や普及・啓発等の環境保全活動に尽力されてきたと伺っております。環境大臣として、こうした皆様の御功績に深く感謝申し上げるとともに、心から敬意を表します。

資源循環や気候変動対策をはじめとした環境問題は地球規模の課題であり、一人一人の環境保全のための活動は小さなことに感じるかもしれませんが、皆さんがそれぞれの地域で実践されているような、次世代や地球環境を守るための取組を一つでも増やすことが「持続可能な社会」の実現に向けて不可欠です。

「一人の百歩より百人の一步を」という意識がより多くの人に広がるよう、今後とも皆様のトップランナーとしての取組がさらに発展していかれることを期待しています。最後になりますが、皆様方の益々の御活躍を祈念いたしまして、私からのお祝いの御挨拶とさせていただきます。

令和2年3月吉日

環境大臣 小泉進次郎



小泉環境大臣からの手紙

(2) ★「令和元年度福岡県環境保全功労者」県知事表彰 ★
ふくおか環境カウンセラー協会 力武 和夫氏

【主な功績】

平成18(2006)年6月から、ビオトープ管理士、環境カウンセラーとしての専門的知識を活かし、ビオトープの維持管理や普及等を通して、生物多様性の重要性の啓蒙を図っている。特定非営利活動法人ふくおか環境カウンセラー協会へ入会後は、環境保全活動を実践するだけでなく、その経験を伝え、環境カウンセラーや環境教育インストラクターなどとして環境保全に関わる人材の育成を積極的に行っている。



宇美小学校でのビオトープ学習

(3) ★「令和元年度飯塚市市勢振興功労者（社会福祉功労）」市長表彰 ★
ふくおか環境カウンセラー協会 近藤哲司氏

活動報告

こどもエコクラブ支援会議を開催しました！
「こどもエコクラブ」を支援します♪

1 支援会議開催の趣旨

こどもエコクラブ登録に不可欠なサポーターへの支援、とりわけサポーター同士の情報交換や交流が不足し、活動が停滞又は縮小している現状を打破するために当事者組織(こどもエコクラブサポーター連絡会)の設立を目指すものである。

2 構成員

- ・福岡県環境政策課コーディネーター、
- ・春日市環境課コーディネーター、
- ・こどもエコクラブサポーター有志、
- ・ふくおか環境カウンセラー協会理事

3 第1回会議:令和元年9月30日

- ・自己紹介及び情報交換・課題の抽出
- ・市町村事務局が増えない理由
- ・クラブの活動報告が少ない理由

4 第2回会議:令和元年10月31日

- ・サポーターを対象とした企画について
- ・3か年計画案(令和元年度から)⇒こどもエコクラブ協働プログラム応募
- ・イベント3回(令和2年度:体験活動2回、壁新聞づくり1回)

5 第3回会議:令和2年1月17日

- ・こどもエコクラブ協働プログラム採択報告ほか
- ・みそづくり交流会企画について⇒4月19日のクローバープラザ調理室を確保



環境省の募集チラシ



熱心な企画会議

- ・市町村コーディネーター説明会について⇒時期未定のため継続審議

6 第4回会議: 令和2年2月3日

- ・子どもエコクラブ協働プログラム企画会議ほか
- ・みそづくり交流会について(申込受付: 2月25日～3月31日まで、先着順)
⇒チラシ・申込書案作成の後、福岡県と(公財)日本環境協会に告知を依頼
- ・市町村コーディネーター説明会⇒福岡県より4月24日の会議への協力依頼あり

福岡県、春日市、(公財)日本環境協会、サポーター有志と弊協会の連携が強まり、子どもエコクラブの拡充を図る第一歩をしるすことができました。

(報告 近藤哲司)

活動報告

北九州エコライフステージ 2019

パートナーシップで育もう！～私たちと地球のビューティフルハーモニー～

- 期日 令和元年 11月23日(土)～24日(日)
- 場所 北九州市役所周辺広場



報告書

今年度も北九州地区では、北九州市役所広場で例年行われる環境フェスティバル「北九州エコライフステージ 2019」が開催されました。

当協会では、地球温暖化防止対策についてパネルやクイズで啓発をしました。

約600人の参加があり、近年若いご家族が増えています。

また同日、北九州市で第21回日中韓三カ国環境大臣会合が開催され、大気汚染や海洋プラスチックごみなど、重点対策について採択されました。終了後、小泉進次郎環境大臣はエコライフステージをじっくり見学されました。



(報告 森本美鈴)

ようこそ新会員

令和元年度に入会の方をご紹介します♪



氏名：垣迫裕俊（かきさこひろとし）氏

所属：九州産業大学地域共創学部地域づくり学科教授

入会動機：直接のきっかけは森本さんに誘われたからですが、若いころから一番関心が強かった分野だから。

自己紹介：北九州市役所で、環境局、保健福祉局、教育委員会などで環境政策や関連の仕事に携わりました。一年前に退職し、現職場で大学生と一緒にSDGSなどを勉強しています。年相応にぼちぼちやっていますので、皆さんよろしくお願ひします。

氏名：大宅公一郎（おおやこういちろう）氏

所属：(株)親和コンサルタント

入会動機：佐賀県庁に在籍中は農業土木の技術者として、圃場整備や農地開発など大規模に自然生態系を改変する仕事をやってきました。民間の建設コンサルタントに再就職後は、時間的に余裕もできましたので、生態系の保全や環境保全などのお手伝いをしたいと思っています。



会社での緑のカーテン 7年目

今後の抱負：佐賀平野にはクリーク水路が縦横に走っていますが、その護岸整備に間伐材を大量に使っています。ただ、間伐材は腐食しやすいので長持ちさせるべく産・学・官で研究をしています。

協会への意見：ビオトープの生態系協会へも参加していますので、お互いに情報の交換ができれば、もっと活動が広がると思います。



佐賀平野クリーク水路の護岸整備

氏名：田中和生（たなかかずお）氏

所属：朝日テクノ株式会社

入会動機：環境カウンセラーの事を力武和夫様よりお聞きし、今後は必ず必要となる資格であると思いました。私達、建設コンサルタントは開発重視の公共事業を手伝ってきました。簡単に言えば自然破壊に協力してきたこととなります。ビオトープ管理士を学ぶ中でつくづく痛感してきましたので、これ以上繰り返すことの無いよう、自然環境の保全・復元・創出について知見を広めて貢献して行きたいと考えました。



森林浴セラピーガイド育成講座（豊前のセラピー基地）



有明海岸の森づくり（緑の少年団の参加）

今後の抱負：環境行動計画に示されている「低炭素」「自然共生型」「循環型」の社会実現に向け、「SDGs」を前面に打立てて仲間を増やそうと思っています。

協会への意見：環境カウンセラーの知名度向上に力点を置いて、存在感を示すイベント等を開催しては如何でしょうか。

事務局より

新型コロナウイルス感染症対策のため、イベント開催自粛など、私たちの生活にも大きな影響が出るようになってきています。一刻も早い終息を望みます。このような状況の中でも、環境保全活動の一助になるようなコンテンツがあれば良いと思います。良いアイデアはないでしょうか。

理事長 依田 浩敏

◆会費納入のお願い

「ふくおか環境カウンセラー協会」は会員の皆様の会費で運営されています。また、全国連合会費も会員数に応じて支出しています。会費未納の方は至急納入してください。

年会費 3,000 円 振込先：郵便貯金総合通帳「ぱるる」

記号 17410 番号：13271061 名前：ふくおか環境カウンセラー協会

◆準会員 並びに 賛助会員 募集

準会員：会費（1口2千円） 賛助会員：会費（1口1万円） 学会会員：会費なし

発行責任者： 依田 浩敏 （編集責任者： 森本美鈴）

連絡先：〒813-0017 福岡県福岡市東区香椎照葉2-3-36

TEL/FAX:092-672-9911 メールアドレス：feca.office@gmail.com